

大阪わかそ!
11.18

大阪市政を どう改革するのか

市政刷新めざす4人が徹底討論

大阪市をよくする会は、『徹底討論』「大阪市政をどう改革するのか」を開催しました。パネラーの発言を紹介します。

(民医連ホール)



藤永延代さん
(NGOおおさか
市民ネットワーク代表)

姫野 浄さん
(大阪をよくなる会市民生活本部長・
日本共産党前市会議員団長)

渡辺 武さん
(元大阪城天守閣館長)

井上賢二さん
(医師・姫島診療所所長・
大阪保険医協会副理事長)

安倍首相の辞任について

国民の勝利

だと思いました。



井上 参議院 選挙で国民 は構造改革 に対して「ノ ー」を突き つけたので

辞任の話聞いたときは思わず笑
いましたが、国内やから笑ってす
るけど、外国へ行ったら笑ってす
まへん。「あんたら国民、何してん
ねん」と言われます。だから真剣に
この問題をとらえ、ああいう人を選
ぶ政治勢力を大きくしたらあかん。

反庶民政治の破綻

すから、当然辞めないといけないの
が、今になったということですよ。こ
れからは私たち国民の声が政治に反
映する政治状況が変わったと思いま
す。

自公政治の崩落

藤永 国民は安倍を選んではない。これ
は自民、公明政権の崩落していく姿

渡辺 自民、公明、反庶民政治の破綻
の象徴と思いました。施政方針演説
をやったにもかかわらず、質問を受
けずに投げ出してしまうというのは
一通りでない無責任。
参議院選挙ではつきりした国民の

市民は大阪市に何を期待しているか

もうあかん、市民の政治に変えてくれ

藤永 いろんな分野で一生懸命にがん
ばってきたけど、もうあかん。本来
政治がやるべきことをやっていない
と気付いた。今回の選挙は、見かけ
のパフォーマンスでなく、真面目な
怒りや疑問を結集し、地味なこと
すが一人ひとりに語りかけ「そやや！」
と納得してもらう。

安倍が辞めるようなアホらしい政治
の状態を憤慨して立ち上がらなあかん
弱いものいじめをやめよ

井上 市民が一番望んでいることでは
ないか。だんだん患者さんは減って
いる。健康保険料の3割負担という

現市政の問題点

トップダウン方式



姫野 トップ ダウンです。 市政改革推 進会議なる ものをこし

らえております。委員の8人のうち
5人は大企業、関西財界等が占めて
おり、地下鉄の民営化や職員定数を
ごっそり削るとかを決めて、トップ
ダウンで下ろしてしまふ。

こういうやり方は地方自治体の本
来のやり方ではなく、議会も、住民
の声も無視されている。民主主義も

市政も壊していくやり方は、一番の
問題ではないかと考えております。

「国の構造改革」のお先棒

渡辺 明治以来の大阪市は、国がどん
なにひどい政治をやるうとも、もう
ちょっとまともな、こぼれ落ちのな
い市民生活を、最低限守っていく政
治を貫くのだという姿勢があった。
公設市場をつくったり、市民館をつ
くったり、先進的な政策をやってい
た。戦後になってもその伝統はあつ
て、国の押しつけの天下り職員を受
け入れなかった。今は人間を受け入
れる、入れないの問題ではなく、国
の施策そのものを率先してやろうと

大もとを変える

姫野 税金の無駄づかいをやりながら、
一方で国民健康保険の値上げや住民税
の増税など、年金生活者や中小商工業
者に、負担をどんどん押しつけてくる
市政に対する怒りは、非常に大きいも
のがあります。同時に大もとを変える
ためにがんばってほしい、という期待
が大きく広がっていると思います。

いのちと暮らし

意向を無視して居座った期間とい
うのは一体何だったのか。ほんとうの
意味での大転換が始まる。
新しい政治への転換が求められる
姫野 国民の声を踏みにじった結果が、
参議院選挙で示されました。自民党、
公明党は、国民の痛烈なパンチをあ
びたのに自覚が足りず、ついにノッ
クダウン。自公政権そのものが、国
民の大きな不信にあっている。
新しい日本の政治へ転換すること
が求められています。

渡辺 地方自治とは本当に困っている

人たちが、どれほど暮らしを続けて
いけるかを考えるのが課題です。そ
れが逆転してしまつて、財界・大企
業など強い方ばかり向くものですが
ら、暮らしもいのちも守れない。数
字でどうこうという問題ではなく、
大もとの行政、
市政そのもの
の向きを
変えてほしい、
という思い
が非常に強い。



財界引きまわしの市政

藤永 儲かるとこだけ民営化する財界
引きまわしの市役所になっている。
無駄で無茶な開発を平気でやってい
る。こういうことがやれるというの
が、今の市政のガン。

2つの病いと予算の使い方

井上 同和問題と無駄な大開発をやめ
ない限り市民の生活はよくなるらない。
医療・福祉をしっかりして、街づく
りを行うのが大事。もう一つ大阪は
商人の町ですので、商店街を大事に
しないとイケない。